

きいて・めもして・こたえよう

こうちょうせんせい そつぎょうまえ こうわ
校長 先生の 卒業 前講話

なまえ
名前

きこくめあて こうちょうせんせい ちゅうしん
聞くめあて 校長 先生の「中心メッセージ」と、それを支える「根拠
(理由)」を、分けてメモしましょう。

ことば ちゅうしん ふた ごんきょ
おとさない言葉：中心メッセージ・二つの根拠

ほうそう
放送が終わったら、
ひら
開いて問題に答えましょう。



やまおり

(1) 校長先生が「いちばん伝えたいこと(中心メッセージ)」は何ですか。

(2) 「失敗をおそれなくてよい」「二つの理由はどれですか。○をつけましょう。
失敗は成長のもとだから
失敗はしないほうがよいから
失敗するとしかられるから

(3) 校長先生は、二つの理由を、何にたとえて説明していましたか。

(4) 二つの理由として、校長先生が話したものはどれですか。○をつけましょう。
助け合う力やあきらめない力があれば、失敗しても立ち上がれる
勉強さえできればよいから
失敗はだれにも見られないから

(5) 校長先生の話を聞いて、あなたが中学校で「こうせんしてみたいこと」を、理由とともに書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

卒業を、間近に、ひかえた、みなさんへ、校長先生から、最後の、講話です。校長先生の、いちばん、伝えたい、こと（中心メッセージ）と、その、根拠を、分けて、聞きましょう。

「みなさんに、いちばん、伝えたいのは、『失敗を、おそれるな』という、ことです」と、校長先生は、話し始めました。「中学、高校と、進むほど、初めての、ことが、ふえます。当然、うまく、いかない、ことや、失敗も、あるでしょう。」

「では、なぜ、失敗を、おそれなくて、よいのでしょうか。理由は、二つ、あります」と、校長先生は、続けます。「一つ目。失敗は、成長の、もとだからです。一度も、転ばずに、自転車に、乗れた人は、いません。何度も、転んで、はじめて、乗れるように、なるのです。」

「二つ目の、理由です」と、校長先生は、声を、強めました。「みなさんは、この、学校で、たくさんの、力を、つけました。友だちと、助け合う、力、あきらめない、力。その、力が、あれば、たとえ、失敗しても、かならず、立ち上がれます。」

「だから、どうか、胸を、はって、進んで、ください」と、校長先生は、みなさんを、見わたしました。「失敗を、おそれず、新しい、ことに、挑戦する。そんな、みなさんの、すがたを、この、学校は、いつまでも、おうえんして、います。ご卒業、おめでとう。」

メモのれい

校長先生の卒業前講話（中心メッセージ・根拠）

中心メッセージ：失敗をおそれるな

根拠①：失敗は成長のもと（自転車も何度も転んで乗れるようになる）

根拠②：この学校でつけた力（助け合う力・あきらめない力）があれば失敗しても立ち上がれる→胸をはって進め

こたえと かいせつ

（1）失敗をおそれるな（ということ）

「いちばん、伝えたいのは、『失敗を、おそれるな』と話しました。

（2）ア（失敗は成長のもとだから）

一つ目の理由は「失敗は、成長の、もとだから」でした。

（3）自転車（に乗れるようになること）

「一度も、転ばずに、自転車に、乗れた人は、いません」とたとえていました。

（4）ア（助け合う力やあきらめない力があれば、失敗しても立ち上がれる）

二つ目は「この学校でつけた力があれば、失敗しても立ち上がれる」でした。

（5）（例）中学では、苦手な英語に挑戦したい。失敗しても成長のもとになると思えたからだ。

挑戦したいことと理由が書けていれば正解です。校長先生の話を生かしていればさらによいです。